

集会案内

日曜日

礼拝 1:45pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyoikai.org

榑原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714) 234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「中野明子夫人葬儀」

九月二日(土)、中野雄一郎牧師夫人、明子先生の葬儀が執り行われるというので、前日の午後、ホノルルに向かい、ワイキキのホテルに投宿した。そこは僕がサンノゼ大学時代の一夏をバイトで過ごした街で、馴染み深かったこともあり、葬儀会場である「日本文化センター」まで歩いて行くことにした。

かれこれ三十分ほど歩いて文化センターが間近になった頃だった。歩道をさえぎるように目の前の狭い道路を出てきた車があった。高齢の女性ドライバーだった。そして窓を開けて僕に英語で尋ねてきた。「日本文化センターがどこか知っていますか？」日系と見受けたその女性に日本語で、「今、僕もそこに行くところですよ」と応えると、「じゃあ、一緒に行きましょう」と相なった。車をドライブするのだから、当然その場所も知っているはずだったのだろうが、見つからずにその辺りをグルグル回っていたのではないかと思われた。車は彼女の家族の車だそうで、家族からは、その建物は近いからと言われて、正確な場所も聞かずに出てきたのである。僕はこの周辺には馴染みがなかったのだが、大体の見当をつけてきたので誘導していくと、まもなく文化センターの建物が見え、無事に着く事ができた。ご高齢ということもあってか、運転はまことにゆっくりで、助手席の僕は後続の車が心配でハラハラどうしだった。聞けば彼女はホノルル教会のメンバーで、地元の方と結婚された熊本出身の女性だった。

葬儀には明子夫人を慕う大勢の参列者が集まり、地元ハワイはもちろんのこと、アメリカ本土や日本から来られた方々もいて、広い会場が埋まっていた。葬儀の中で、雄一郎牧師が挨拶に立ち、夫人が脳卒中で動けなくなった時のことを証した。病む妻を思い、「あなたの看護に自分の残りの生涯を捧げる」と言った時、夫人は「私のことよりもとにかく伝道に行ってください」と回らない舌で応えたという。牧師の背後にある妻の存在と励ましがどれほど大きいかを知らされ、参列者の涙を誘った。この一例が示すように、家族に夫に教会に、身を粉にして仕えた七十八年の満ち足りた生涯であった。そこで「良い、忠実な僕よ、よくやった」(マタイ二五・21)とのお言葉を示され、僕もこのお言葉に生きなければとの再献身の思いをもって、その午後、機上の人となった。

Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榑原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。